

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

令和5年4月18日実施（市内全小・中学校実施）

小学校第6学年 国語 算数 児童質問紙

中学校第3学年 国語 数学 英語 生徒質問紙

1 学力調査の状況

小学校第6学年

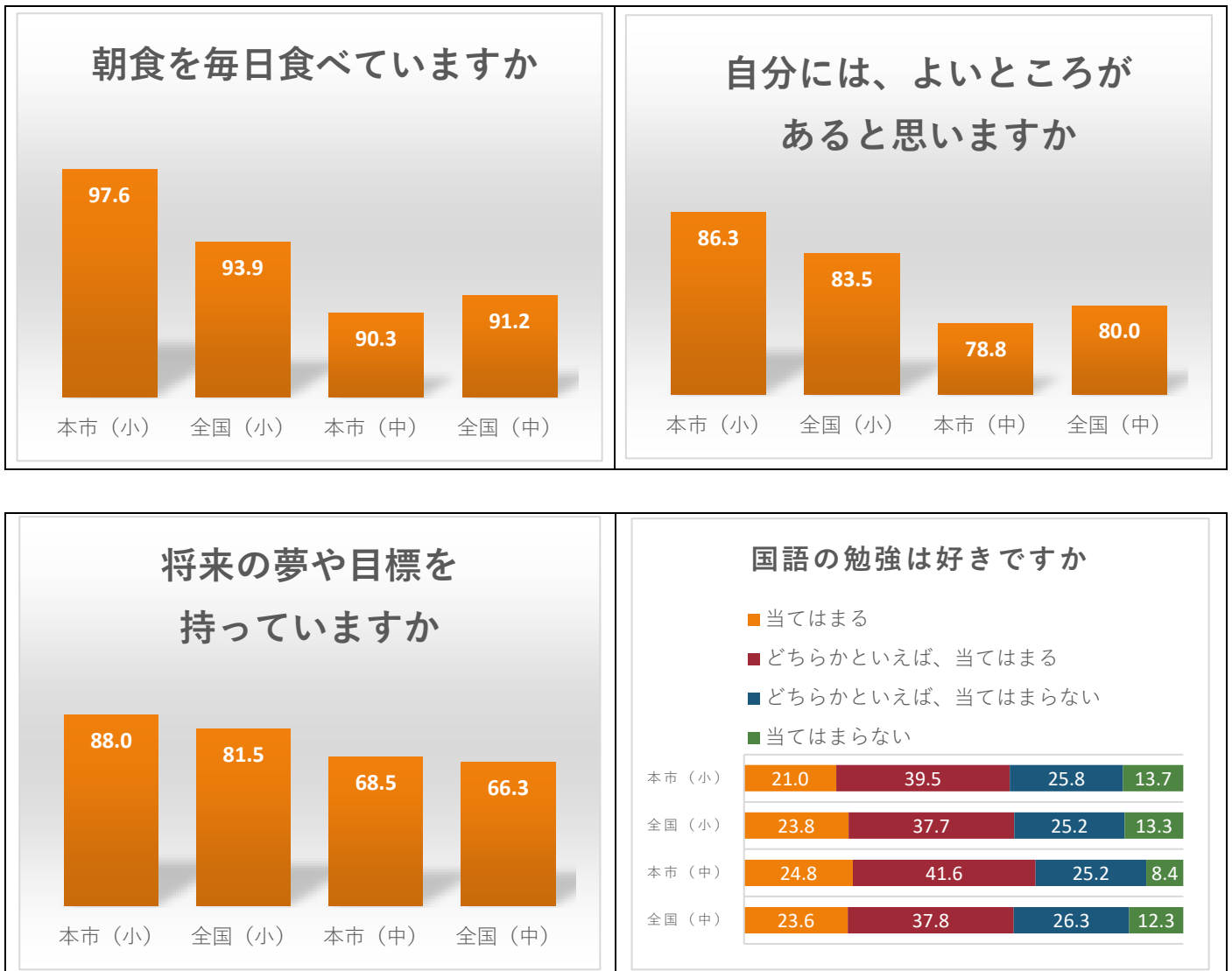
	成果	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○原因と結果など情報と情報との関係について理解すること ○図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常よく使われる敬語を理解すること ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと ●必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○加法と減法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすること ○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述すること ○高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●「以上」の意味を理解し、示された数から必要な数を読み取ること ●（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えること ●百分率で表された割合について理解すること ●正三角形の意味や性質について理解すること

中学校第3学年

	成果	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと ○観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えること ○聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること 	<ul style="list-style-type: none"> ●文脈に即して漢字を正しく書くこと ●文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に考え、要旨を把握すること ●意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係について理解すること
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること ○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること ○結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし、説明すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること ●自然数の意味を理解すること ●累積度数の意味を理解すること ●四分位範囲の意味を理解すること

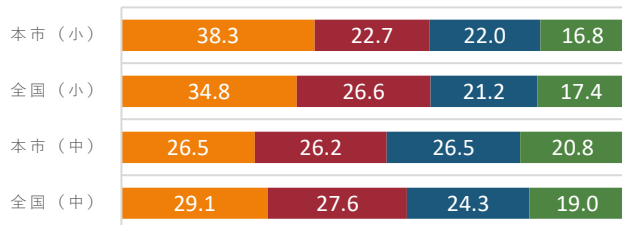
英語	<p>○日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「相手の行動を促す」という言葉の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くこと ●未来表現（be going to）の肯定文を正確に書くこと ●日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりすること ●情報を正確に聞き取ること ●社会的な話題について、短い説明の要点を捉えること
----	---	--

2 質問紙調査の状況



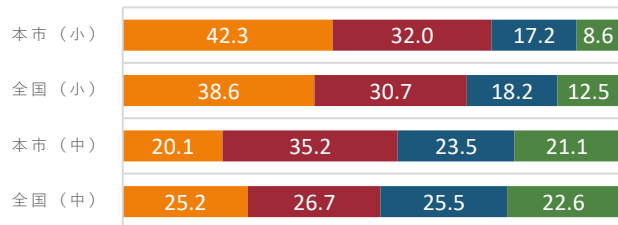
算数・数学の勉強は好きですか

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない



英語の勉強は好きですか

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

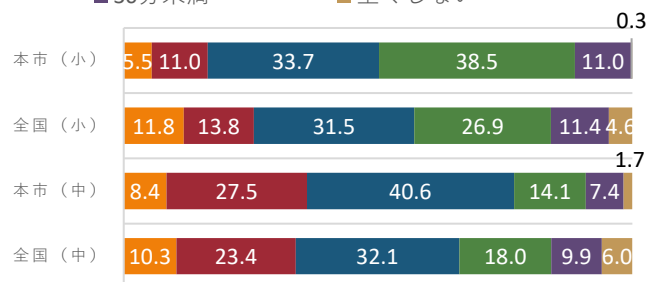


家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

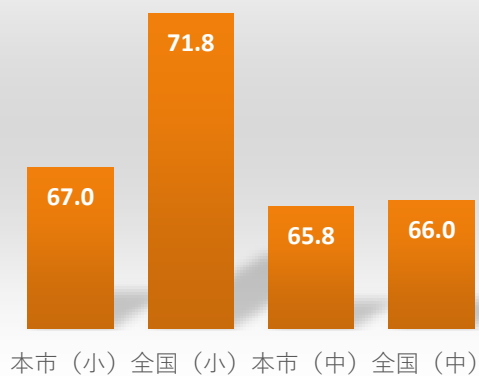


学校の授業以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか

- 3時間以上
- 2時間以上3時間未満
- 1時間以上2時間未満
- 30分以上1時間未満
- 30分未満
- 全くしない

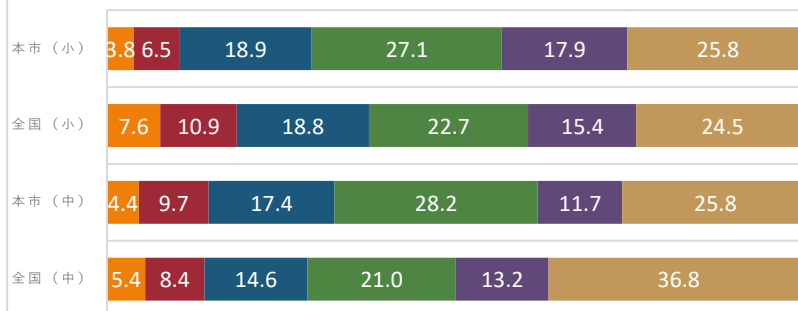


読書は好きですか



学校の授業以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか

- 2時間以上
- 1時間以上2時間未満
- 30分以上1時間未満
- 10分以上30分未満
- 10分未満
- 全くしない



3 改善に向けて

- ・小学校・中学校共通の傾向として、課題とされてきた「思考・判断・表現」を問う問題は成果が見られ、改善されつつある。一方、「知識・技能」を問う問題につまずきが多く見られ、基礎的・基本的な知識・技能が定着していない課題が明らかになった。学習の中で、身に付けなければならない「知識・技能」はしっかりと教え、それらを活用して課題を解決する学習場面を設定することで定着を図る必要がある。
- ・中学校英語については、4 領域全てにおいて県平均・全国平均を下回る結果となった。生徒質問紙からは、小学校では高かった英語学習に対する意欲が、中学校になると大きく低下していることが分かった。学習内容が高度になることや、文法事項など身に付けなければならない事項が増加すること等が要因として考えられる。また、小学校では学習活動にゲームや歌を多く取り入れ、「楽しい」と感じる内容であることも一因であると考えられる。中学校英語の授業では、小学校での「聞く・話す」中心の授業から、4 技能をバランスよく取り入れた授業を展開し、「楽しい」だけでなく「分かるから楽しい」授業を積み重ねていく必要がある。
- ・児童質問紙、生徒質問紙については、「読書は好きですか」の質問において、小学校・中学校とも全国平均を下回っている。読書量の多さが、文章読解力の高さや語彙の豊富さにつながっていくので、担任や図書事務員等によるブックトーク、校内読書週間の推進、国語教材の平行読書の実施等、児童生徒が本に親しむ機会を意図的に作る必要がある。